

保存試験器



賞味期限・消費期限の保存試験に最適！

幅広い温湿度制御範囲で、温湿度下における安定性試験だけではなく、常温(10~35℃)や冷蔵(0~10℃)、冷凍(-15℃以下)での厳密な温度管理が必要な保存試験に最適です。

■ 全面ガラス内扉

内槽の隅々を見渡せるガラス内扉を標準装備。扉を開閉して試料の状態を確認する際、温湿度の乱れを起しません。

■ 低温度で連続運転(特許出願中)

+5℃~+30℃の温度運転においては蒸発器の霜つきを防ぐため、冷媒の方向を定期的に切り替えるフロストフリー運転を行います。試験中断することなく連続運転が行えます。

■ ISO22000要求事項である、モニタリング及び測定をサポート

エスペックはJCSS制度の認定業者として信頼性の高いバリデーションを提供いたします。



型式		CRH-212	CRH-222	CRH-232
調温(調湿)循環方式		平衡調温調湿方式(BTHCシステム)、 バーチャルエアジャケット方式		
運転可能外囲温度		+5~+40℃		
性能	温湿度範囲	-20~+85℃/50~90%rh		
	温湿度変動※1	±0.5℃/±3%rh(設定温度-20~+30℃) ±0.3℃/±3%rh(設定温度+30.1~+85℃)		
	温湿度勾配※1	2.0℃/±5%rh(設定温度+20~+60℃) 3.0℃(設定温度-20~+19.9℃、+60.1~+85℃)		
	温度最大最小幅※2	±5℃(設定温度-20℃) ±3℃(設定温度+5℃)		
	温湿度最大最小幅※2	±2℃/±5%rh以内(温湿度保証範囲)		
内容積		235L	470L	794L

※1 JIS C60068-3-6:2008、JTM K09:2009に準拠。外囲温度が+5~+35℃、相対湿度65±20%、定格電圧、無試料の場合とします。

※2 ICHガイドラインQ1Aの(長期保存試験、加速試験の保存条件)の基準幅±2℃/±5%rhならびに5℃±3℃、-20℃±5℃を満足する仕様であり、設定値に対して、温度/湿度安定状態で任意の時点における有効空間内の温度/湿度の差の最大値を示します。外囲温度が23℃±5℃、相対湿度65±20%rh、定格電圧、無試料の場合とします。

■ 価格、詳細仕様等につきましては別途お問い合わせください。

エスペック株式会社

本社
530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6
Tel:06-6358-4741 Fax:06-6358-5500

●製品に関するお問い合わせは
□ライフ事業プロジェクト
Tel:06-6358-3093 Fax:06-6358-5176
□最寄営業所

●製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。